

<補足資料> 伊勢門水と名古屋祭

【生没年】 安政6年(1859)2月25日生～昭和7年(1932)1月15日没

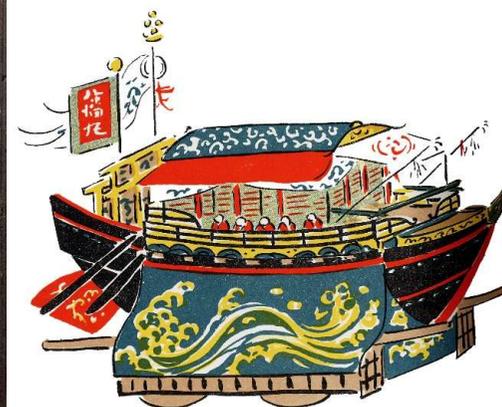
本名・水野宇右衛門。幼名・代次郎。

芸名は屋号の「伊勢屋」にちなみ、さらに本名を「水の上の門」と洒落て「門水」と号した。

伊勢屋は旗商だが、昔は薬業を営み、明治になってから転業したと言う。

伊勢門水は明治から大正時代にかけて名古屋で活躍した文化人である。

演者として、狂言の舞台に始まり、その画才を発揮して描いた狂言画は躍動感とユーモアにあふれた独特の画風も相まって全国で評判となった。また、門水はお祭り好きでも知られ、地元若宮祭の他、東照宮祭、天王祭など御城下の盛大であった祭りに関する著述や絵画も多く残しており、今も当時の祭りの様子を知る貴重な参考文献として活用されている。著書に『名古屋祭』『末広町話』がある。



■伊勢門水の絵画



伊勢門水描いたなごやまつり

2018年10月24日～11月11日

於 : エスプラーダギャラリー

企画: 吉村俊哉、木村哲央他

